

2010年9月4日

会社説明会

Speciality Chemical Partner



暮らしにカンジン、ロジンの会社

荒川化学工業株式会社



マツタロウ

目次

1. 荒川化学とロジンについて
2. 荒川化学の事業について
3. 荒川化学の業績推移と中期経営計画
4. 株主還元策・株式情報等



マツタロウ

1 荒川化学とロジンについて

1-1 沿革

- 1876年（明治9年） 大阪で生薬商として創業
- 1914年（大正3年） 嶋野工場を開設し、ロジンの製造開始
- 1928年（昭和3年） ロジン系塗料用樹脂の製造開始
- 1937年（昭和12年） ロジン系印刷インキ用樹脂の製造開始
- 1954年（昭和29年） 製紙用薬品（サイズ剤）の製造開始
- 1967年（昭和42年） 台湾に天立化学（現 台湾荒川化学）を設立
- 1977年（昭和52年） 荒川林産化学工業(株)から荒川化学工業(株)に改称
- 1995年（平成7年） 中国に梧州荒川化学を設立
- 1999年（平成11年） 大証第二部に株式上場
- 2003年（平成15年） 東証・大証第一部に株式上場
- 日本ペルノックス（現 ペルノックス）が当社グループに加入
- 2004年（平成16年） 中国に南通荒川化学、広西荒川化学を設立
- 2008年（平成20年） 中国に広西梧州荒川化学を設立



創業当時の看板



サイズ剤の海上輸送



東証第一部上場



広西荒川化学

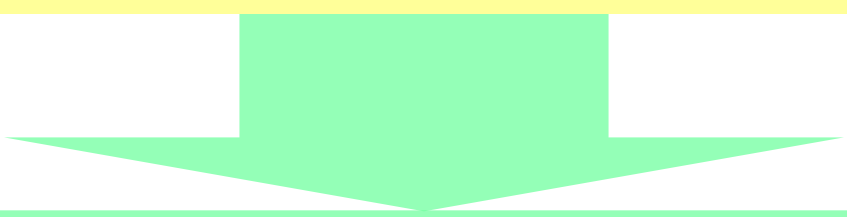
1-2 経営方針

経営理念

個性を伸ばし技術とサービスでみんなの夢を実現する

ビジョン

ロジックに代表される地球に優しい素材を通して
社会に貢献するスペシャリティー・ケミカル・パートナー



株主、取引先、社員および社会に貢献して
企業価値を高めていく

1-3 生松脂採取からロジン製品完成までの流れ

①生松脂採取



生松脂採取

* 松の木に溝をつけ、滲み出てきた松脂を収集する

②生松脂の受入～ロジンの精製 (広西荒川化学工業有限公司)



生松脂入荷

精製



ロジン

大半を中国から輸入
荒川化学は、日本のロジン取扱量トップ
(約50%)

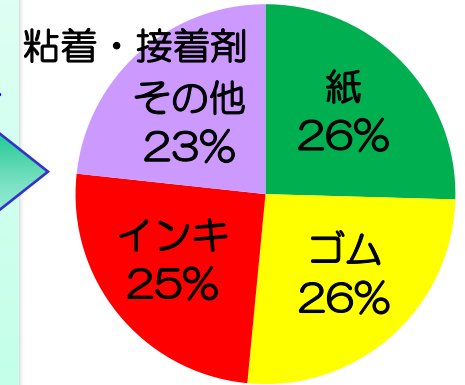
ロジンの使用例

- ・ 製紙用薬品、インキ用樹脂など工業製品
- ・ はんだ付けのフラックス
- ・ 野球のロージンバッグ
- ・ バイオリンの弦に塗られる

③各種用途向けに加工

テレピン油

加工



日本のロジン消費量
8万トン

ロジンは、
生活必需品から
電子材料分野まで
幅広い用途に
使用されている

1-4 荒川化学の事業概要



印刷用紙
新聞紙

天産原料
ロジン

石油化学原料

精密部品洗浄剤

製紙用薬品
(サイズ剤、紙力増強剤)
印刷インキ・塗料用樹脂
粘着・接着剤用樹脂
合成ゴム重合用乳化剤
電子材料他



ディスプレイ用
コーティング剤



印刷用インキ
チューインガム



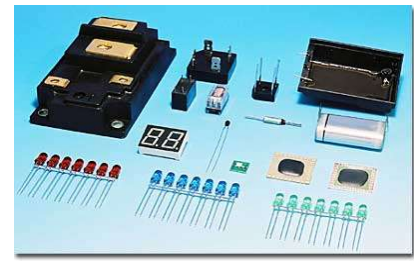
粘着・接着剤



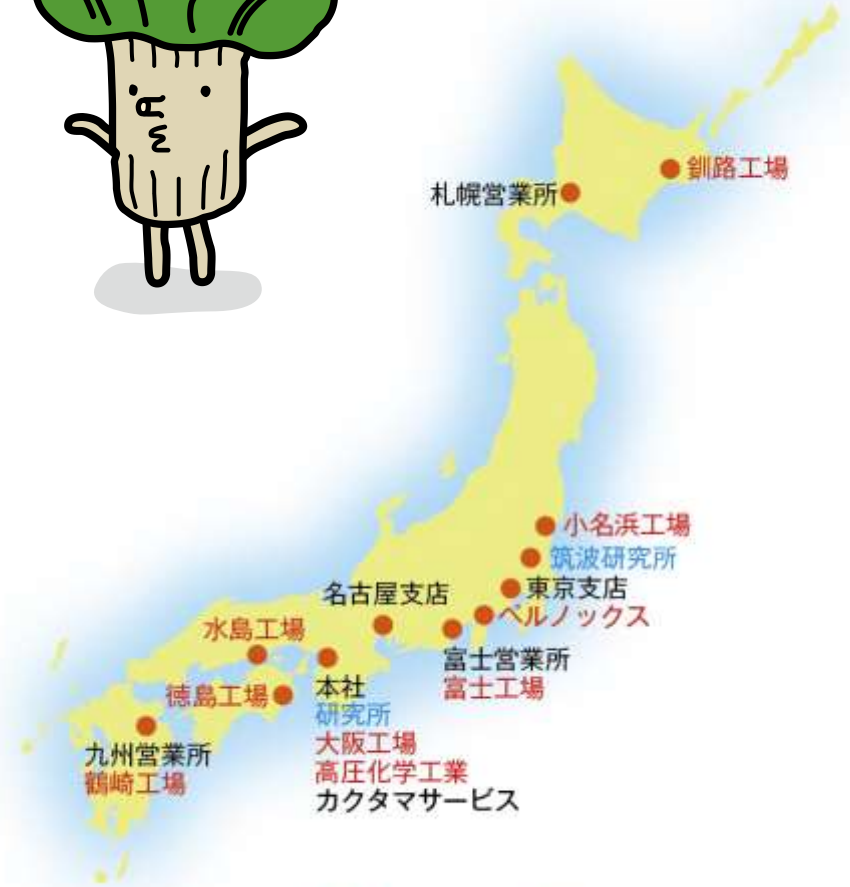
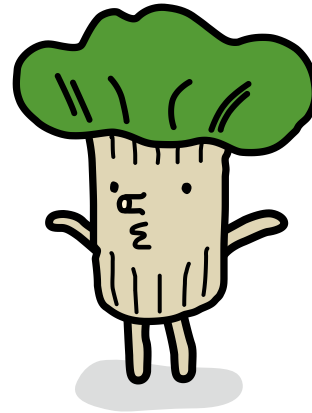
タイヤ



電子部品



1-5 国内・海外拠点



※赤色は製造拠点、青色は研究拠点

2. 荒川化学の事業について

2-1 2009年度の事業別売上高

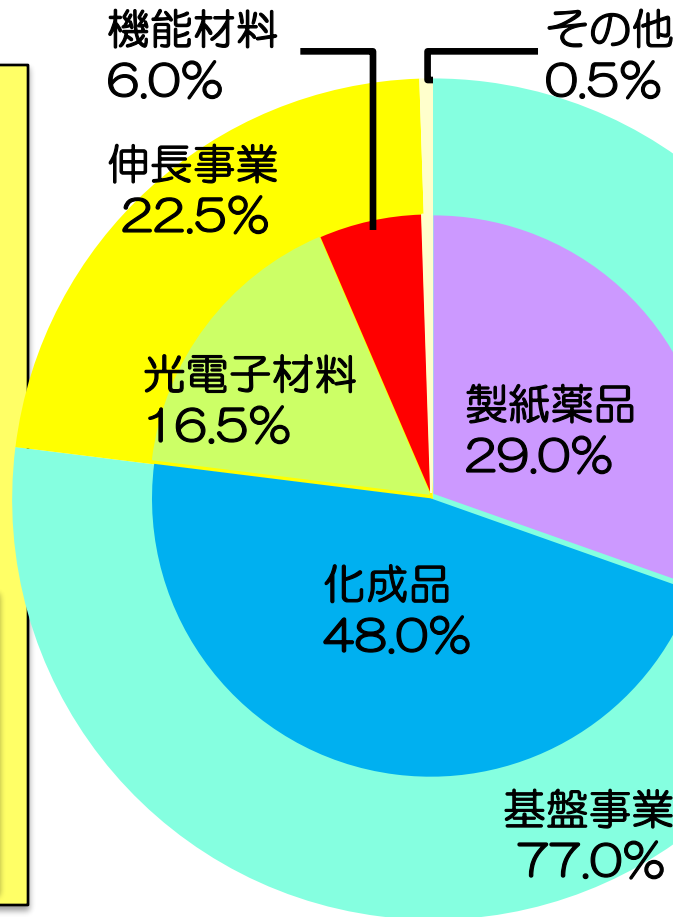
2009年度売上高
568億円

伸長事業

機能材料事業
精密部品洗浄剤、
機能性ファイン
ケミカル製品、
クリームはんだ等

国内子会社 2社

光電子材料事業
光硬化型樹脂、
電子材料用配合製品、
有機・無機
ハイブリッド樹脂 等



基盤事業

製紙薬品事業
サイズ剤、紙力増強剤、
塗工紙用薬品 等

海外子会社 7社
(製造拠点)

化粧品事業
印刷インキ用樹脂
塗料用樹脂
粘着・接着剤用樹脂 等

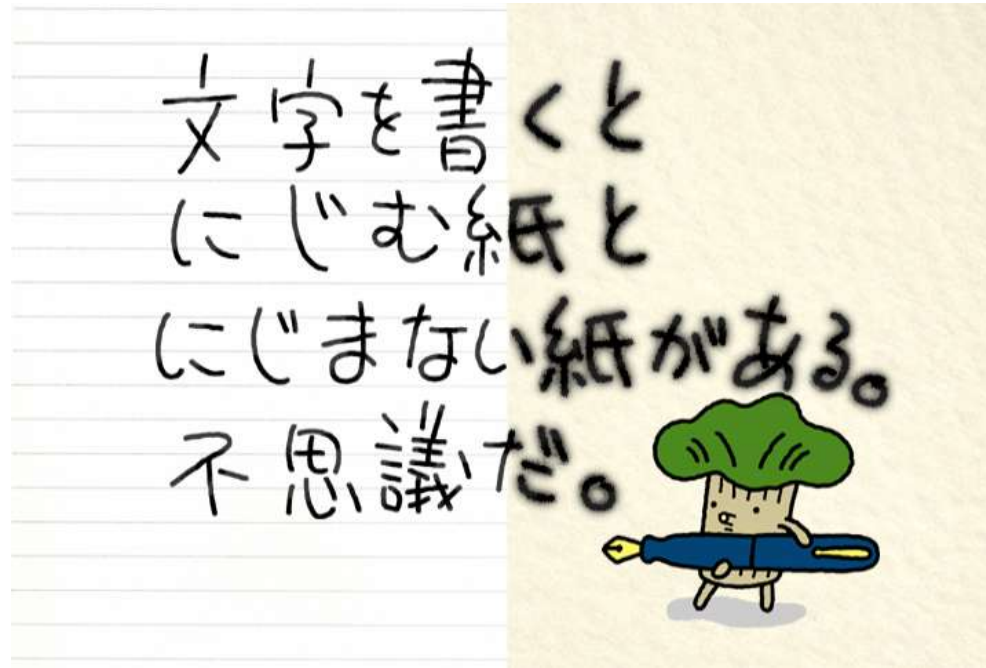
2-2 製紙薬品事業（基盤事業）

製紙用薬品の国内シェア約40%で、シェアトップ

・サイズ剤（ロジン系）

インキのにじみを抑えるために、紙に加えられる薬品。

コピー用紙や新聞紙など、印刷される紙には必ず使用されています。



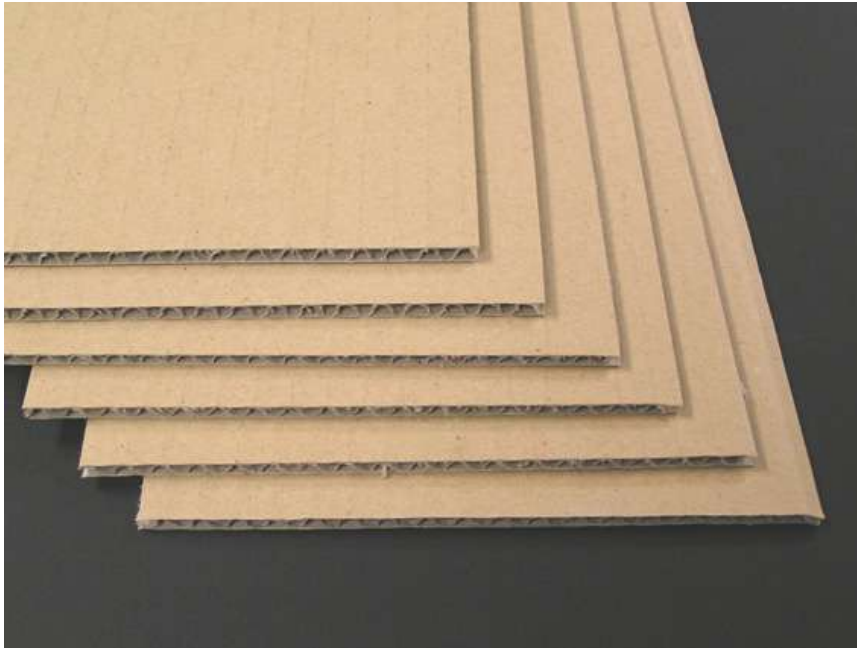
サイズ剤あり

サイズ剤なし

2-2 製紙薬品事業（基盤事業）

- ・紙力増強剤（石油化学系）

段ボールなど、強度を必要とする紙に加えられる薬品。
紙を丈夫にし、破れにくくしてくれます。



段ボール

ティッシュペーパー
キッチンペーパー



2-3 化成品事業（基盤事業）

・印刷インキ用樹脂（ロジン系）

インキを紙に密着させたり、つやを出したりするために、
当社の製品が使われています。

キレイな色を再現
光沢があって、綺麗な色の印刷ができるようになります。

光沢
が出る

ロジンが決め手

黄 紅 藍 墨

印刷の
スピード
UP

ロジンと顔料、油で
造られた印刷インキ

インキがとれません
一冊前は印刷物を手で
擦っていると、インキがと
れて、手が汚れたけど…
インキが紙にしっかりくっ
つき、強い皮膜になるので、とれません。

印刷時のインキの飛散
量を少なくして廃油印
刷に対応できます。

国内シェア約40%で、
シェアトップ

2-3 化成品事業（基盤事業）

- 粘着・接着剤用樹脂（ロジン系・石油化学系）

ロジン系国内シェア 約50%
石油化学系国内シェア約35%
（白物樹脂）

シェアトップ



- 塗料用樹脂（石油化学系）
- タイヤ用樹脂（ロジン系）
- チューインガム用樹脂（ロジン系）



超淡色ロジン（パインクリスタル）

医療用のハップ剤の粘着成分材料など、
さまざまな用途で、注目されています。

世界で荒川化学のみが製造できる
オンリーワン製品



2-3 化成品事業（基盤事業）

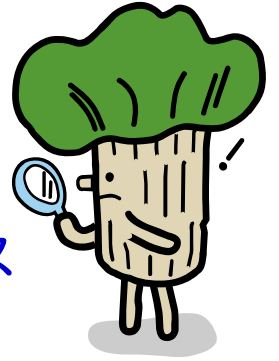
超淡色ロジン（ピンククリスタル）

世界で荒川化学のみが製造できるオンリーワン製品

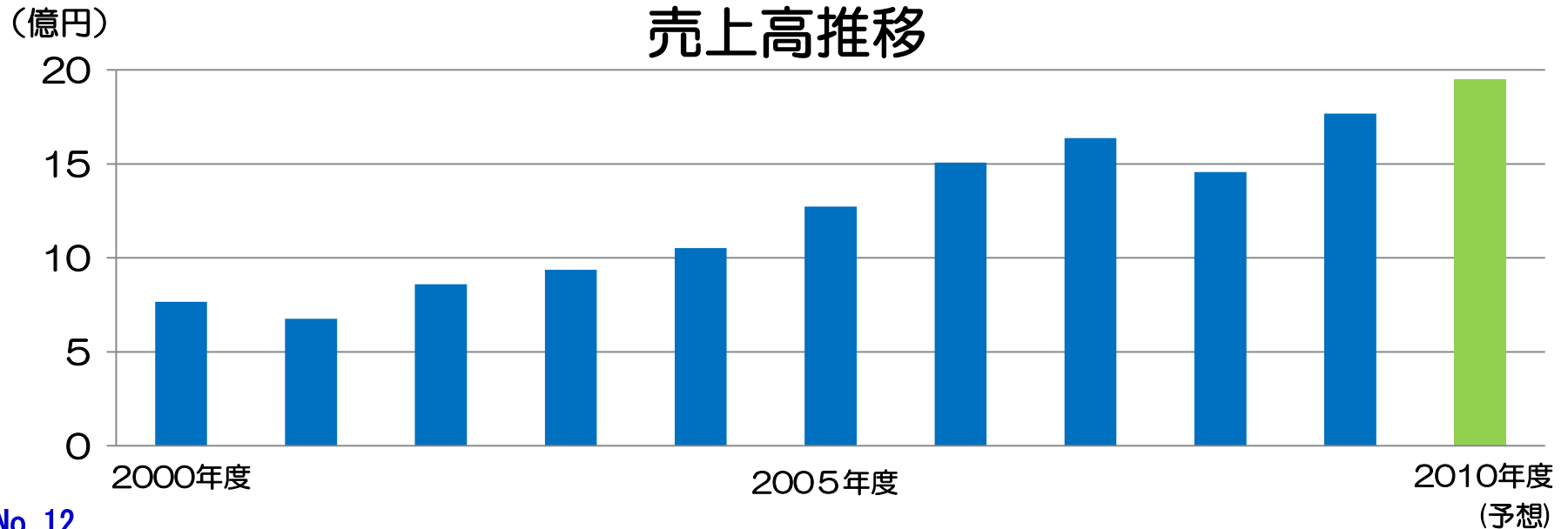


[用途] 鉛フリーはんだ用フラックス
医療用ハップ剤
プラスチック用結晶核剤

[特長] 不純物が少ない、熱に対して安定



小名浜工場に生産設備新設、2011年6月完工予定



2-4 機能材料事業（伸長事業）

・ 精密部品洗浄剤（石油化学系） ・ 洗浄機械

情報通信や、電子材料関連分野などに使われる精密部品の洗浄に、当社の洗浄剤・洗浄機械が使われています。



・ 機能性ファインケミカル製品 （石油化学系）

高圧化学のクリーン環境対応設備にて受託製造をしています。

高度な品質管理体制が強みです。



2-5 光電子材料事業（伸長事業）

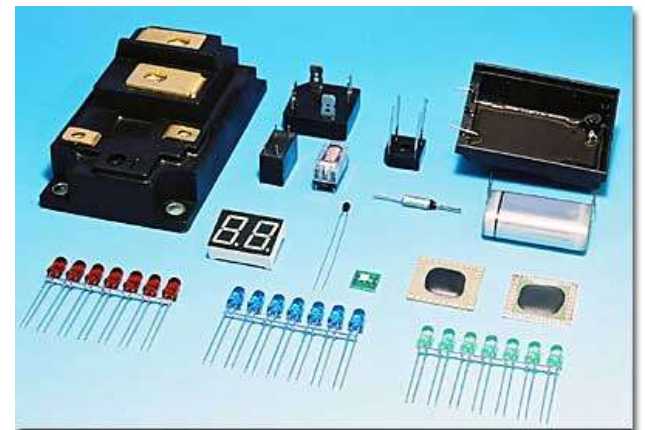
・ 光硬化型樹脂（石油化学系）

光を当てると瞬時に固まる樹脂。
薄型テレビ、携帯電話などの
コーティングとして使用され、
急速に拡大しています。



・ ペルノックスの電子材料用配合製品 （石油化学系）

優れた配合技術を活かしたLEDやコンデンサ
などの電子・電気部品の封止用樹脂や
タッチパネル用導電性ペーストなど。



2-5 光電子材料事業（伸長事業）

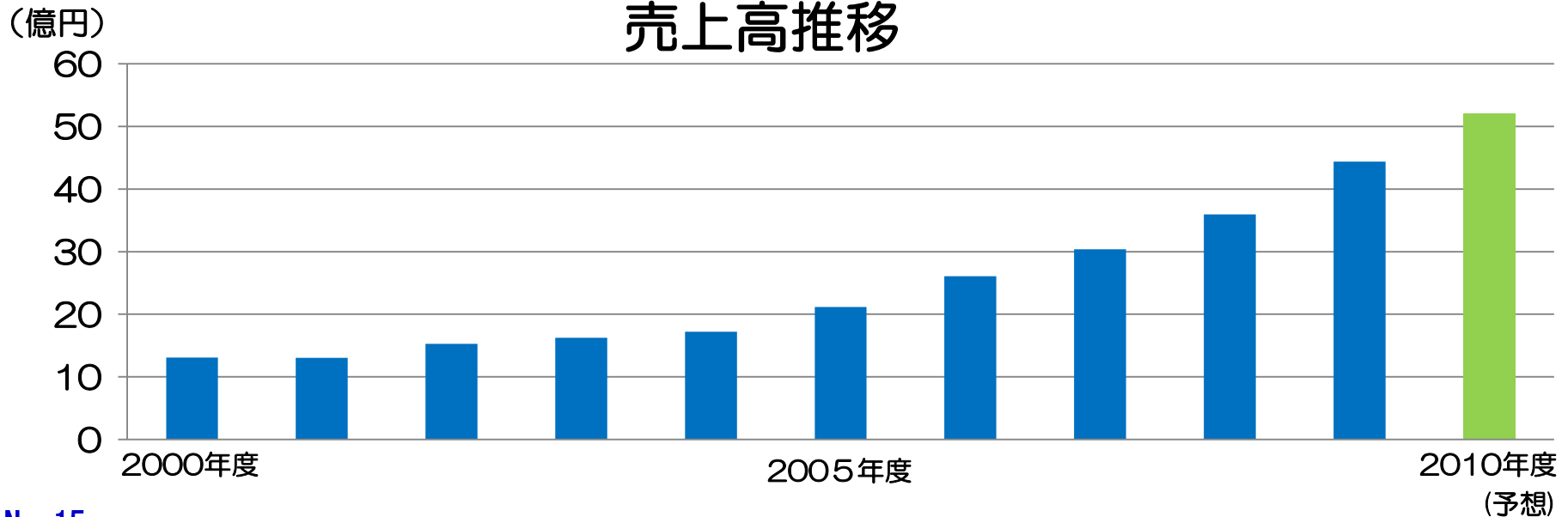
光硬化型樹脂（ビームセット）



〔用途〕 機能性コーティング 環境・省エネ対応
 携帯電話 印刷インキ・塗料
 ディ스플레이 クリヤワニス
 I C生産工程用 水系化

〔特長〕 紫外線、電子線で硬化 高機能性
 速硬化性=高生産性=省エネ

大阪工場に生産設備新設、2011年2月完工予定



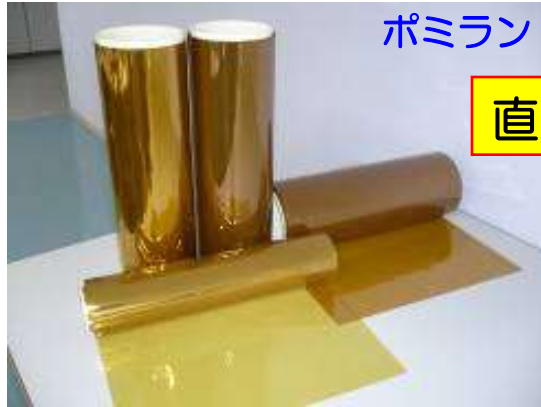
2-5 光電子材料事業（伸長事業）

シリカハイブリッドポリイミドフィルム「ポミラン」（開発品）

有機・無機材料の特長を併せ持つ優れた回路基板用ポリイミドフィルム

当社ハイブリッド技術により素材を開発し、
タイマイド社（台湾）と共同でフィルム化技術を確立

シリカハイブリッドポリイミドフィルム



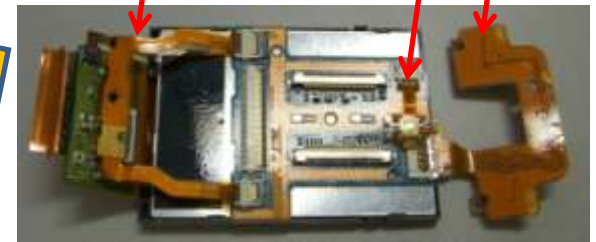
ポミラン

直接ウェットめっき可能

応用例

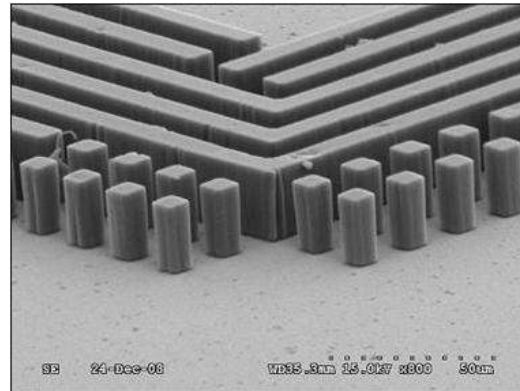
フレキシブルプリント基板

携帯電話など各種デジタル製品
に多く使われる



めっき付きポミランへの
回路作製

線幅：10 μ m
(1mmの1/100)



2-5 光電子材料事業（伸長事業）（ペルノックス）

放熱塗料「ペルクール」（開発品）

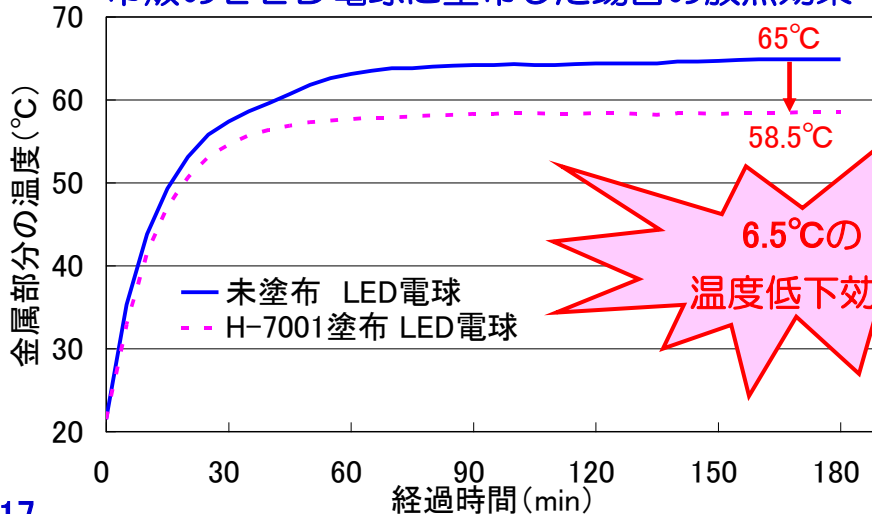
塗るだけで放熱性が向上する塗料：熱伝導と熱放射の機能を持つ

用途

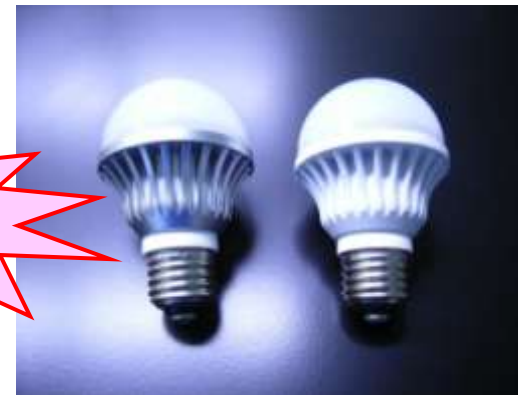
- ・各種電気製品の熱対策（電子回路の信頼性向上）
- ・車関連電子部品の熱対策（ハイブリッド、電気自動車）
- ・LED照明の熱対策（発光効率のアップ、長寿命化）
- ・放熱フィンの小型化 → 製品の小型化
- ・筐体全体の温度低下

性能

市販のLED電球に塗布した場合の放熱効果



LED照明への展開

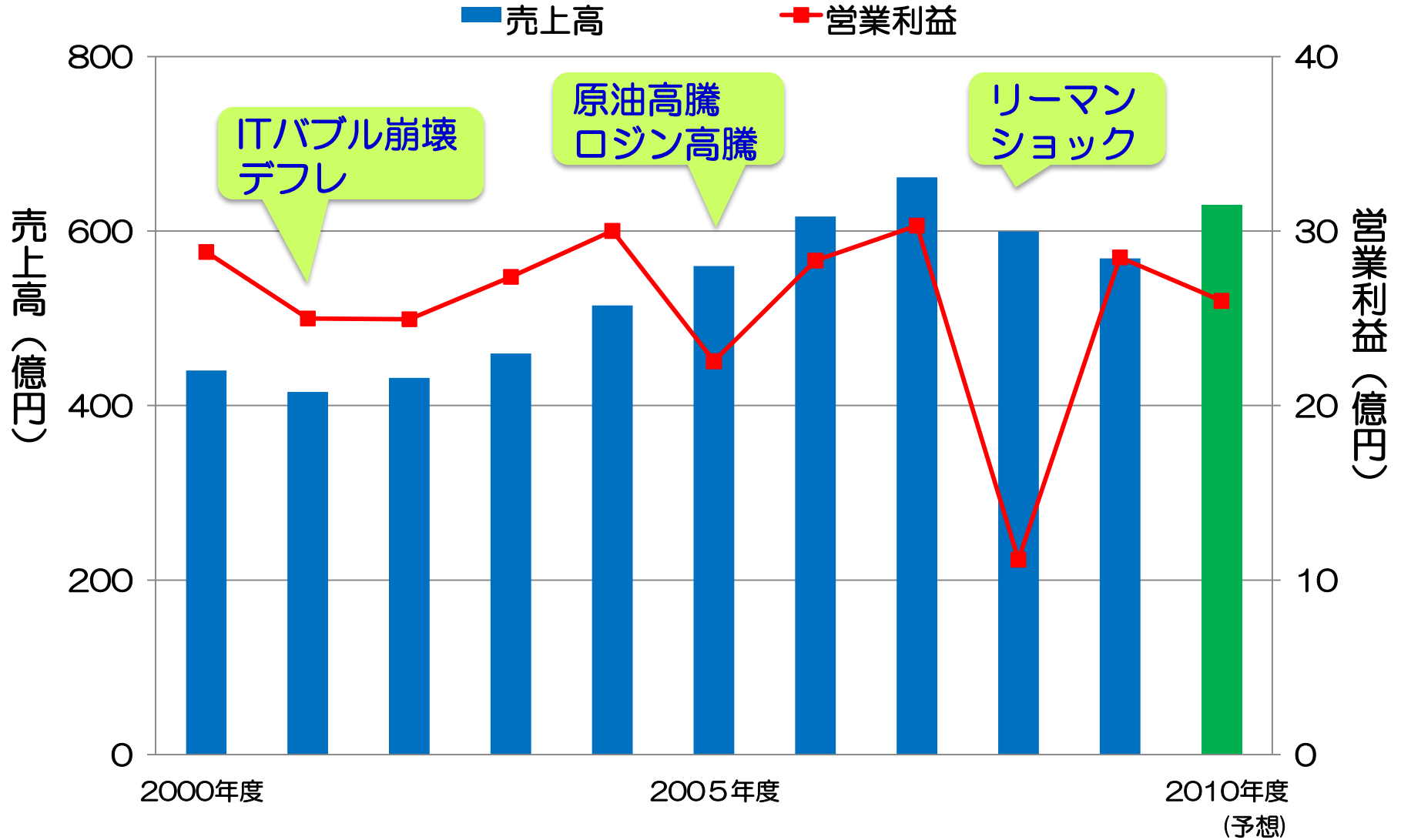


左：未塗布
LED電球

右：H-7001塗布
LED電球

3 荒川化学の業績推移と中期経営計画

3-1 業績推移（連結）



3-2 第2次中期5カ年経営計画の概略 (2008~2012年度)

キャッチフレーズ

「PINE DASH 1000」

～ 躍動、輝ける未来のために ～

- ・「**PINE**」： 松の木、当社を代表する原料であるロジンをイメージ
本業重視を継続する
Proactive Innovation for New Era
新しい時代へ、新機軸の先取り
- ・「**DASH**」： **Dynamic Action for Shining History**
躍動、輝ける未来のために
- ・「**1000**」： 当社創業140周年となる2016年度には、
企業成長のひとつのベンチマークである
売上高1,000億円を超える姿でありたい

3-2 第2次中期5カ年経営計画の概略 (2008~2012年度)

業績目標

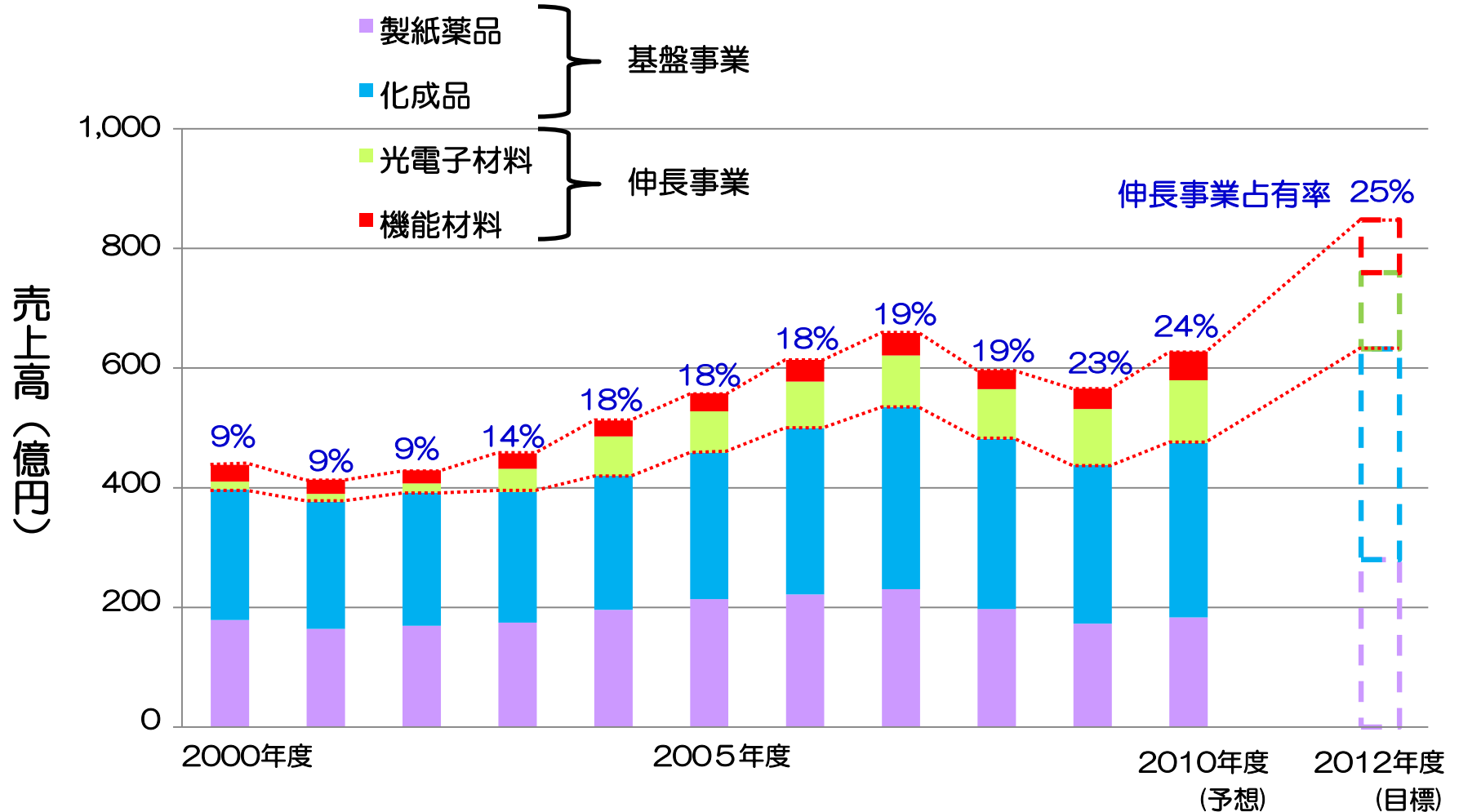
2012年度目標： 売上高 850億円
 経常利益 55億円
 ROE 7.0%以上

(単位：億円)	2007年度 (実績)	2012年度 (目標)	5カ年 伸率%
売上高	661	850	+28.5
営業利益	30	52	+71.6
経常利益	32	55	+70.7
当期純利益	17	33	+85.9
ROE	5.0%	≥7.0%	

3-3 第2次中期5カ年経営計画の戦略

4事業の売上推移

伸長事業の比率を向上、2012年度に約25%を目指す

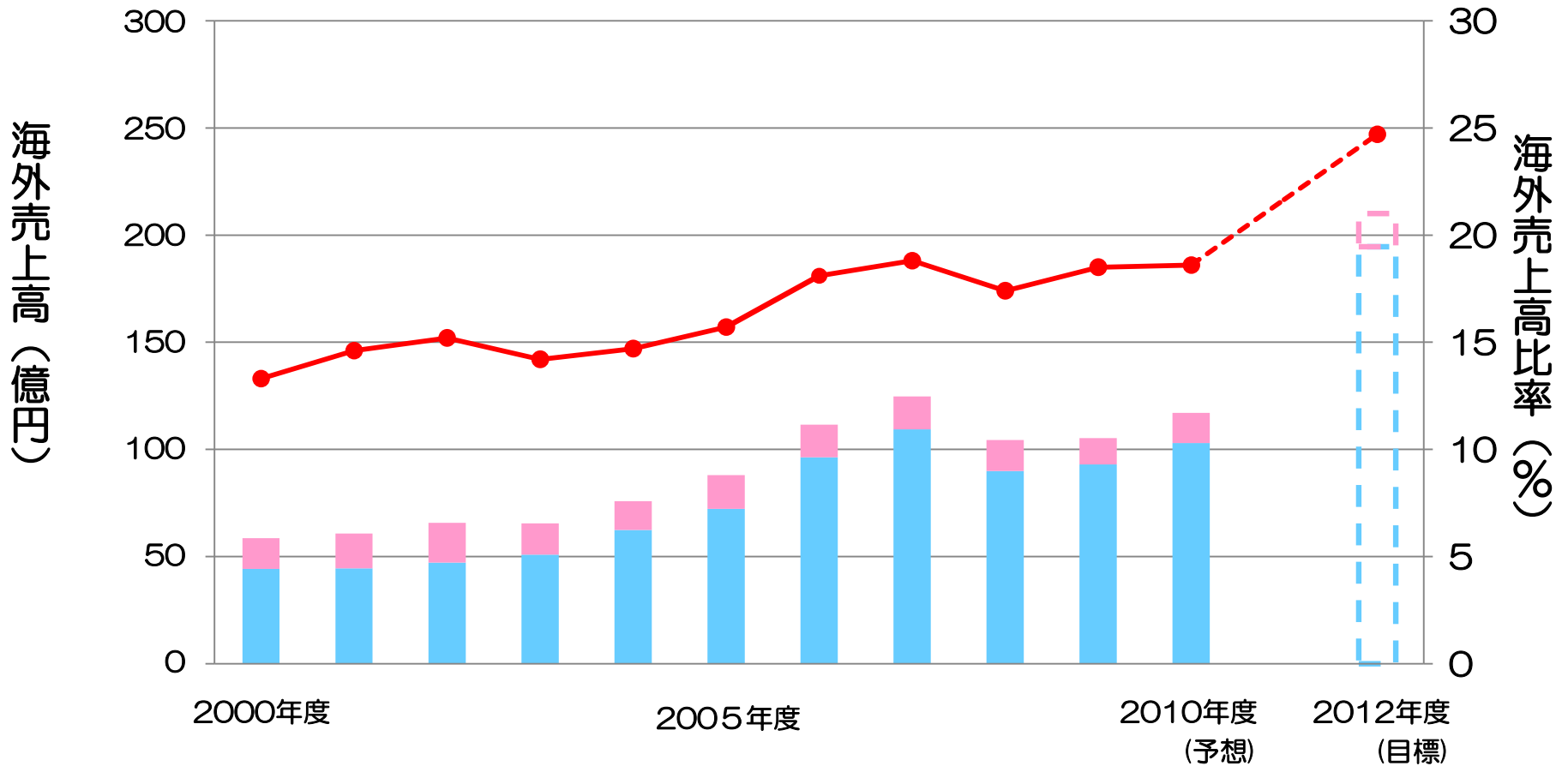


3-3 第2次中期5カ年経営計画の戦略

海外売上高・比率推移

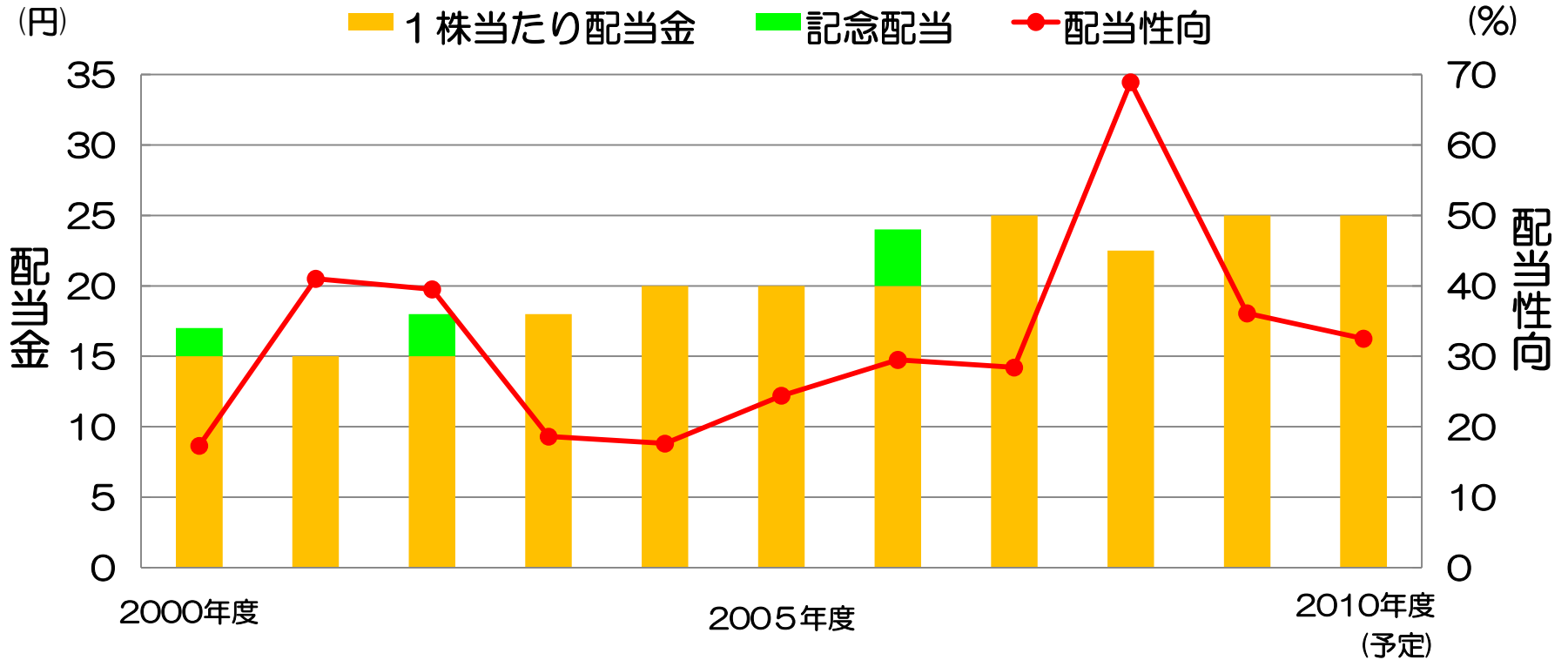
海外比率を向上、2012年度に約25%を目指す

■ アジア ■ その他 ● 海外売上高比率



4-1 株主還元策

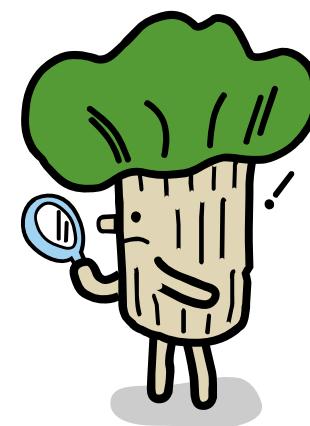
安定的な配当を維持しつつ、積極的な株主還元策に取り組む



2007年度配当	中間配当	12.0円	+	期末配当	13.0円	計	25.0円
2008年度配当	中間配当	12.5円	+	期末配当	10.0円	計	22.5円
2009年度配当	中間配当	12.0円	+	期末配当	13.0円	計	25.0円
2010年度配当予定	中間配当	12.5円	+	期末配当	12.5円	計	25.0円

4-2 株式情報

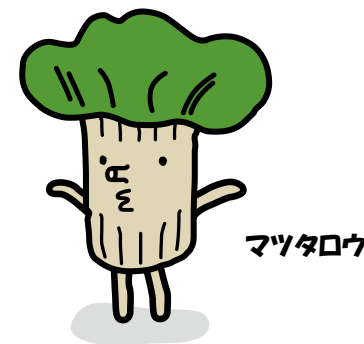
証券コード	4968
決算期	3月
上場取引所	東証・大証一部
単元株	100株
株価	1,097円 (2010年3月末 終値)
最低所要金額	109,700円
配当利回り	2.3%
P E R	15.8倍
P B R	0.62倍
発行済株数	20,150,400株



(株)日本格付研究所 (JCR) から

A- 【格付けの見通し】 安定的
の格付けを取得しました。 (2010年9月2日付取得)

商号	荒川化学工業株式会社
所在地	大阪府中央区平野町1丁目3番7号
代表者	取締役社長 末村 長弘
創業	明治9年（1876年）
会社設立	昭和6年（1931年）
資本金	31億2,830万円
従業員数	1,298人（2010年3月末時点・連結）



見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。